

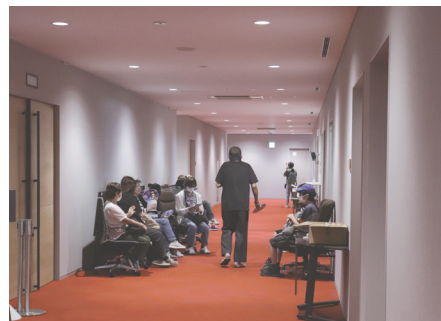
津波警報・大津波警報が発表されたら

令和7年7月30日（水）、ロシアのカムチャツカ半島近くでマグニチュード8.7の大きな地震が発生したことにより、和間山県では午前8時37分に津波注意報、午前9時40分に津波警報が発表されました。市内全域に避難情報（レベル4 避難指示）が発令され、多くの方々が津波避難タワーや市役所などに避難しました。

津波警報発表は東日本大震災以来のことであり、災害への備えや避難の方法を改めて確認してみましょう。

「緊急避難場所」と「避難所」の違いについて

津波に関する「緊急避難場所」と「避難所」は、いずれも災害時に人々の命を守るための施設ですが、目的や避難のタイミング等が異なります。



市役所庁舎5階に緊急避難している様子
(7月30日)

○「緊急避難場所」と「避難所」の違い

	緊急避難場所	避難所
目的	「命を守る」ため、できるだけ早く一時的に避難する場所	被災後の「生活を支える」ための滞在場所
避難のタイミング	津波警報・大津波警報が発表された直後など危機が迫っているとき	緊急避難の後、自宅での生活が困難な場合に避難所へ移動
場所の例	高台、市が指定した津波避難ビル、津波避難タワーなど	学校、会館、公民館など
滞在期間	数時間から数日（津波の危険が去るまで）	数日～数週間以上
設備	必要最低限（トイレ・水等、設備がない場所もあります）	水、食事、毛布、トイレ等の数日間にわたり必要なもの

避難指示が発令されたら、すぐに避難しましょう

避難指示が発令された場合、対象の地域に住んでいる方は、ただちに緊急避難場所や津波で浸水する心配がない場所へ避難してください。避難指示が出るタイミングは自宅にいたときとは限りません。右の二次元コードから、今一度、津波ハザードマップの確認をお願いします。

また、飲み水や食べ物、薬などの非常持ち出し品は、最低1日分を日頃から「持ち出し袋」にまとめて、玄関などすぐ持ち出せる場所に置いておきましょう。非常持ち出し品は、右の二次元コードから市ホームページを参考に各自必要なものを用意しておきましょう。



津波ハザードマップ



避難先一覧



非常持ち出し品

